

東京大学大学院総合文化研究科 准教授 公募要項

1.	職名及び人数	准教授 1名
2.	採用予定日	2023年4月1日
3.	契約期間	期間の定めなし
4.	試用期間	採用された日から6月間
5.	就業場所	大学院総合文化研究科（東京都目黒区駒場3-8-1）
6.	所属	東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系・宇宙地球部会
7.	業務内容	(a) 授業：教養課程（1-2年生）、学際科学科（3-4年生）、および大学院修士・博士課程の講義・（野外・屋内）実習・実験担当 (b) 卒論生、大学院生の研究指導 (c) 学内委員
8.	就業時間	専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。
9.	休日	土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
10.	休暇	年次有給休暇、特別休暇 等
11.	賃金等	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考 博士修了/34万円～ 諸手当 賞与（年2回）、通勤手当（原則55,000円まで）の他、本学の定めるところによる。
12.	加入保険	文部科学省共済組合、雇用保険に加入
13.	応募資格	(a) 博士号を有すること (b) 上記の業務内容を遂行できる (c) 教養学部の教員として、様々な分野の教員と協調して学内業務を遂行できること
14.	提出書類	(a) 東京大学統一履歴書（以下の URL からダウンロードし作成すること。） <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html</a> (b) 業績リスト (i) 査読付き学術論文：論文題名、著者名、雑誌名・巻・頁・発刊年を明記し、代表論文5編に印を付けること。Web of Science Core collectionによる、代表論文5編を含む主要論文の各被引用回数と、全論文の総被引用回数を付記すること。 (ii) 国際会議における基調・招待講演 (iii) 著書 (iv) 競争的資金獲得状況 (c) これまでの研究内容のまとめと今後の研究計画（あわせて A4 用紙 2枚程度） (d) これまでの講義経験と大学院生指導の実績（A4 用紙 1枚以内） (e) 教養課程教育に関することを含む教育や研究指導に対する抱負（A4 用紙 1 - 2枚程度） (f) 応募者に関して適切な評価ができる方2名の氏名、所属、連絡先（電話と e-mail アドレス） (g) 代表論文 5 篇
15.	提出方法	応募方法： 下記の説明に従い、1個の zip 形式の圧縮ファイルを作成し、上記書類の電子ファイルを以下の URL にアップロードすること。 <a href="https://davm01.ecc.u-tokyo.ac.jp/public/EVIYAAKI_k5AiKEBfNSBeHDsowDpm8Panm9or8IWzjQq">https://davm01.ecc.u-tokyo.ac.jp/public/EVIYAAKI_k5AiKEBfNSBeHDsowDpm8Panm9or8IWzjQq</a> ※アップロード後、以下の問い合わせ先に電子メールで知らせること（こち

		<p>らから受領の連絡を返信します)。数日しても連絡がない場合は、再度電子メールでお問い合わせ下さい。</p> <p>ファイル作成方法</p> <p>(i) 履歴書</p> <p>(ii) 提出書類(b)-(f) をひとまとめの pdf ファイルとする。申請者のお名前が駒場一高さんの場合、そのファイルの名称は: KOMABAKazutaka. pdf とする。</p> <p>(iii) (g) はそれぞれの論文を別ファイルとする。</p> <p>(iv) (i)～(iii) の計 7 個のファイルをフォルダに入れ、圧縮ファイルにする。圧縮ファイルの名称は KOMABAKazutaka. zip とし、zip 形式で圧縮し、パスワードはかけない。</p>
16.	応募締切	2022 年 9 月 18 日 (日曜日) 必着
17.	問い合わせ先	〒 153-8902 目黒区駒場 3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻広域システム科学系宇宙地球部会 小宮 剛 e-mail: komiya@ea.c.u-tokyo.ac.jp
18.	募集者名称	国立大学法人東京大学
19.	その他	<p>(a) 選考の過程で、模擬授業を含む対面またはオンライン面接 (COVID の感染状況等による) を行うことがある。</p> <p>(b) 東京大学は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合、女性を積極的に採用する。</p> <p>(c) 採用後の留意事項: 東京大学教養学部は学部 1, 2 年生全員が所属する教育機関である。数百人規模の一般教養講義を毎年複数コマ担当する必要がある一方で、地球惑星科学を専門とする学生は非常に少数であり、大多数は文科系を含む他分野へ進学する学生である。教養課程で学ぶ地球惑星科学の思考法や論理的考え方は、どの分野に進んだとしても大きな意義を持っていたと学生が後日納得するような教育を心がけて実行してもらえることを期待する。</p> <p>(d) 取得した個人情報、本人事選考以外の目的には利用しません。</p> <p>(e) 「東京大学男女共同参画加速のための宣言 (2009. 3. 3)」に基づき、女性の積極的な応募を歓迎します。</p>